

平成 30 年度
事業計画書

平成 30 年 3 月
学校法人豊田学園

I. 教育・研究・社会貢献に関する計画

1. 岐阜保健短期大学

(1) 教育に関する計画

①看護学科の教育目標

- ・生命の尊厳について深く理解し、人間の痛みや苦しみ、喜びを共感できる心を持ち人としての権利を尊重して行動できる豊かな人間性を養う。
- ・人間、健康、環境、看護実践に関する専門的知識・技術を習得し、科学的な根拠に基づいた判断と問題解決行動がとれる基盤的能力を養う。
- ・ライフサイクルの各期、健康のあらゆる段階の対象に応じた看護を実践するため、患者・家族との良好な人間環境を確立する能力を養う。
- ・保健・医療・福祉にかかわる人々と連携・協力して、看護の責任ある実施と共にチームの調整的役割を果たす能力を養う。
- ・社会の変化や医療・看護の進歩に対応して積極的に自己学習する能力を養う。

②リハビリテーション学科の教育目標

- ・人間と社会に対する深い理解と生命の尊厳の認識を深め、人としての権利を尊重できる保健医療技術者の育成。
- ・高度・専門医療に対応し得る幅広い知識・技術を備えた保健医療技術者の育成。
- ・進んで自ら学ぶ精神と態度を身につけ、高齢化、国際化、情報化等時代の変化に的確に対応できる保健医療技術者の育成。
- ・保健医療チームの一員として他職種と協調し、自ら考え積極的に保健医療活動を実践できる保健医療技術者の育成。

【平成 30 年度事業計画】

- ・担任制による教育支援などにより、学生の「成長」につながる教育活動を展開する。
- ・授業改善のための「授業アンケート」や「学生との交流会」、「学生意見箱」等を継続的に実施することや、必要に応じて実施する学生アンケート等を通じて学生の状況分析、状況把握を行い、教育内容や教育支援の改善につなげる。

教職員の資質向上に取り組む。

○教育内容や教育方法の改善のために、FD（ファカルティ・ディベロップメント）およびSD（スタッフ・ディベロップメント）活動を充実する。また、授業見学などを通して教職員の資質向上を図る。

【平成 30 年度事業計画】

- ・全学FD活動における授業方法研修会の実施、事業見学会の継続的な取組等により、教育改善及び教職員の資質向上を図る。

- ・従来からある各種外部研修会に積極的に事務職員を参加させてSD活動の充実を図り、事務職員の資質向上を図る。

(2) 学生支援に関する計画

学生の学習・生活に関する環境や相談体制、経済支援を強化する。

- 学生支援を担う各室・図書館等について、学生のニーズに応じた支援機能の強化を図る。
- 担任制度を充実させる。
- 授業料免除などの各種経済支援策を検討する。

【平成 30 年度事業計画】

- ・学生の意見・要望をくみ上げるシステムである「学生意見箱」や毎年実施している学生満足度調査により、学生のニーズを把握し、全学的な学生支援体制の強化を図る。
- ・最新のオフィスアワーを提示するなど、学生のニーズに応じた個別指導が可能となるよう教育環境を整える。
- ・サイバー攻撃やウイルスにおける感染、SNSに潜む危険性など、コンピューターやネットワークを利用する上で必要な情報セキュリティについて周知する。
- ・奨学金制度の見直しを検討する。
- ・図書購入費用として5,000千円を計上

(3) 研究に関する計画

本学の特色ある研究を推進し、研究水準の向上を図る。

- 個人研究費と共に、共同研究費を確保する。
- 研究推進体制を整備・充実すると共に、研究活動の評価を通して、研究活動の活性化を図る。
- 研究成果を学術誌、学会等に公表するとともに、紀要を充実させ、社会に積極的に発信する。

【平成 30 年度事業計画】

- ・研究活動の活性化を図る。
- ・外部研究費の積極的な獲得を目指す。
- ・研究成果を積極的に学術誌、学会等に公表する。
- ・研究成果を積極的に外部に発信する。

(4) 社会との連携や社会貢献に関する計画

地域貢献を図る。

- 恒例の「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」に参加し、ボランティア活動を通して他者との連携や競技者及び地域住民との触れ合い等を体感する。

【平成 30 年度事業計画】

- ・岐阜市主催「高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン」のボランティアに参加する。

2. 岐阜保健短期大学医療専門学校

(1) 教育に関する計画

①東洋医療学科の教育目標

- ・生命の尊厳について深く理解し、豊かな人間性を養う。
- ・東洋医療の源を学ぶとともに、健全な身体の育成及び礼節をわきまえた人格を形成する。
- ・伝統ある東洋医療の専門的知識・技術の習得とともに、現在の主流である西洋医学の知識を身につけ、科学的根拠に基づいた判断と問題解決行動がとれる基礎的能力を養う。
- ・東洋医療に対する社会的要請の多様化に対応して、積極的に自己学習する能力を養う。

【平成 30 年度事業計画】

- ・授業時間数の増加に対応するカリキュラムの改定を実施する。
- ・授業回数増加に対応するため、教員の人材確保を行う。
- ・認定実技審査の改定に伴い、講義内容の充実を図る。

(2) 学生支援に関する計画

学生の国家試験対策の支援を強化する。

- 学生のニーズに応じた国家試験支援対策の強化を図る。

【平成 30 年度事業計画】

- ・学生のニーズに応じ授業時間外に国家試験対策として教員が特別講座を開催する。

II. 4 年制大学設置に関する計画

岐阜保健大学（仮称）の開設準備を進める。

- 岐阜保健大学（仮称）看護学部看護学科（入学定員 80 名）を、平成 31 年 4 月に開

設する。

○岐阜保健短期大学看護学科は、大学の開設と同時に募集停止し、全ての学生が卒業後に廃止する。

○4年制大学の開設に伴い、施設設備の整備を行う。

【平成 30 年度事業計画】

- ・4年制大学の開設に向けた、設置認可申請の準備、教員採用人事等を進める。
- ・4年制大学の開設に伴う施設設備の整備を完了する。

Ⅲ. 入学者増加に関する計画

(1) 広告媒体関連

【平成 30 年度事業計画】

- ・各種施策の実施により、岐阜保健短期大学リハビリテーション学科の定員充足に努める。
- ・オープンキャンパスのチラシ・パンフレットを全面改定し、岐阜保健大学（仮称・認可申請中）看護学部の特徴と魅力を受験生に具体的に伝えるようにする。
- ・医療系受験生に対してDM発送を実施する。

(2) ガイダンス関連

【平成 30 年度事業計画】

- ・直接受験生と接触が持てる進学相談会・高校内説明会に積極的に参加する。さらに地方戦略の一環として、地方での進学相談会に参加する機会を増やし、同時にその地域の高校訪問を中心とした広報展開を行う。参加にあたっては短期大学、専門学校及び大学（認可申請中）の紹介及び相談会後のオープンキャンパスへの参加促進に注力する。
- ・高校訪問は、実績校からの入学者数の安定化を図るため、担当者を固定して対応する。
- ・受験生が直接本学と接する機会として、5月以降10月までの間毎月1回程度、合計7回のオープンキャンパスを実施する。ここでは、学科紹介を始め、様々なイベントを開催し、個別相談にも応じることにより、本学の魅力を受験生に伝える。

Ⅳ. 財政健全化に関する計画。

本学の財政については何ら問題なく推移している。

【平成 30 年度事業計画】

- ・収容定員充足に努め、安定した収入を確保し、支出面においては、経費の削減に努め、費用対効果を高める。

- ・各種補助金等の外部資金の獲得ができるような体制を作る。

V. 施設設備に関する計画

【平成30年度事業計画】

(1) 駐車場用地埋立

平成29年10月に駐車場用地として購入した土地を埋め立てする費用として2,260千円を計上

(2) 看護4年制大学認可申請に伴う校舎改修工事

1号館・3号館の防水工事及び外壁塗装等の費用として51,051千円を計上

(3) 看護4年制大学認可申請に伴うシミュレーションセンター及び研究センターの新設工事

- ・3号館研究センター新設工事費用として1,695千円計上

- ・7号館シミュレーションセンター新設工事費用として3,240千円計上

(4) 看護4年制大学認可申請に伴うシミュレーションセンター及び研究センターの備品購入

- ・各センターに備える教具・工具・備品の費用として30,172千円を計上

- ・シミュレーションセンターに備える家具の費用として7,003千円を計上

- ・研究センターに備える家具の費用として5,130千円を計上

以上